

# 活動報告

2025. 7 . 1 ( 火 )

<活動内容>氷遊び

<準備品>たらい、氷、ゼリーカップ、雑巾

<活動の流れ>ジュースパックや豆腐パックに固めた氷をたらいに出して触ってみる。



<子どもの様子>大きな氷を見ると、早く触りたそうな姿がある。触ると、冷たさを感じたり、どうしたら氷を割れるかを考えてみる。氷に色がついていたこともあり、溶かしながら色を混ぜてみる子もいた。

<子どもの声>

「冷たいっ!」「これ、割ってみよう」「あれ、割れないなー」「どんどん溶けていく」「かき氷みたい!」

<振り返り>

大きい塊の氷は馴染みがないのか、大きな氷を見るだけでも目を輝かせていた。

氷が溶けていく中で、氷の交換をしながら色を混ぜることを楽しむ姿もあり、色の興味にも繋がっていた。

活動の後に水道で手を洗うと水の暖かさを感じ、氷と水の温度差の発見もあった。色んなものの温度差にも注目して感触活動の視点を持ってみてほしい。

